

大関小学校ゴミゼロをめざす授業の報告

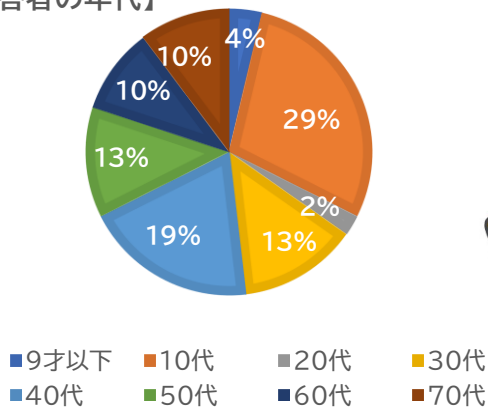
大関クリーン隊と大関小学校(4年生)は、今年6月から9月まで、タバコのポイ捨て問題に光をあてて、ゴミゼロのまちをめざす授業を進めてきました。外部講師による授業3回と住民アンケート、クラス担任の授業(まちのフィールドワーク、ささおか見学、新聞づくり)を組み合わせながら、わたしたちは、大関のまちをゴミゼロにするために何が大切で、どうしたらよいのかを考え、特にタバコのゴミを中心に話し合ってきました。

今回は、住民アンケートの結果報告をさせていただきます。大関地区の皆さま、その節はアンケートにご協力いただき、本当にありがとうございました。

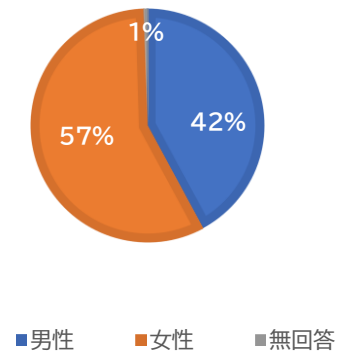
これからも大関ゴミゼロのまちを目指して、いっしょに活動していきませんか!?

●住民アンケートの結果(回答者数216名)●

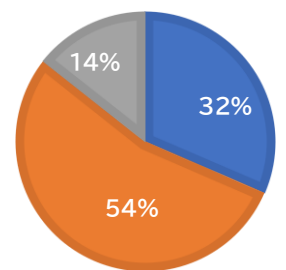
【回答者の年代】



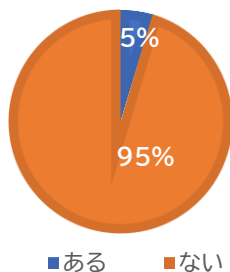
【回答者の性別】



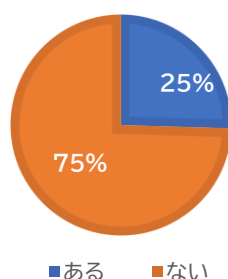
【タバコのポイ捨て性別】



【タバコのポイ捨て経験の有無】

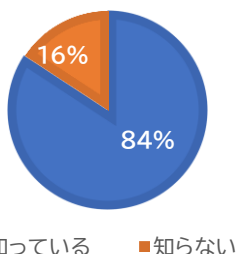


【タバコのポイ捨て目撃経験】

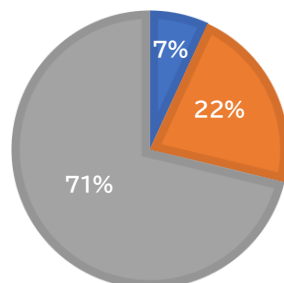


■違わないと思う ■男性が多いと思う ■女性が多いと思う

【タバコ有害の知識】



【今後ポイ捨てをするか】
※ポイ捨てをしたことがある人のみ回答

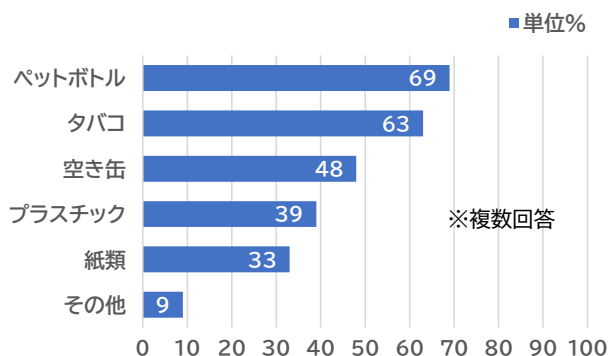


■するかもしれない ■多分しないと思う ■絶対にしない

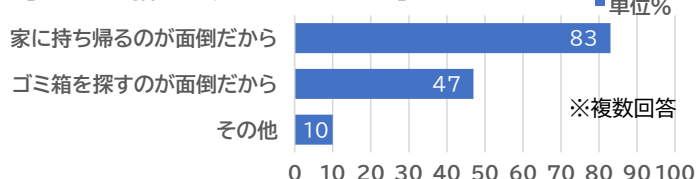


イラスト:大関小4年生

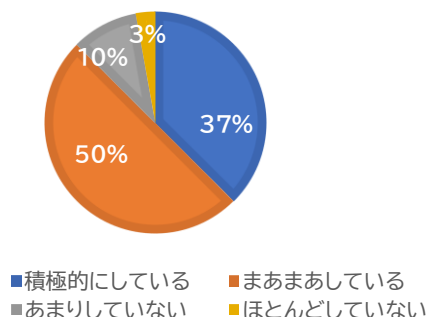
【大関のポイ捨てゴミで多いと思うもの】



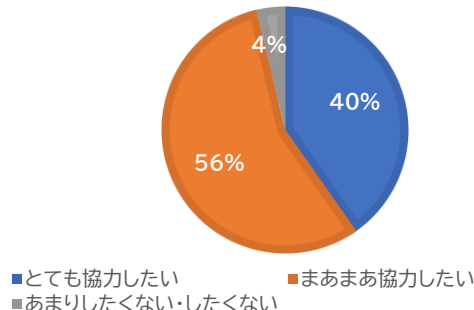
【なぜポイ捨てをするのでしょうか？】



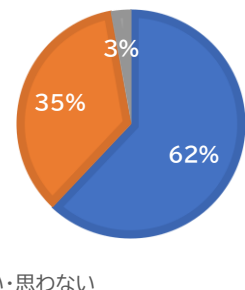
【ゴミ分別、減量、リサイクルの実行】



【大関のまちのための住民協力の気持ち】



【大関のための住民協力の必要性】



★子どもたちのふりかえり(アンケート活動を中心にまとめました)★

- 一番心に残っている活動はアンケートづくりです。皆さんが思っていることがわかったり、これだけの人がポイ捨てをしているんだ、ポイ捨てしている人を見ているんだということがわかりました。
- アンケートを取ってよかったと思います。タバコをすてた人がやばいと思ったと思います。
- アンケートを取って、タバコなどのゴミをポイ捨てしてる人がどのぐらいいるのか知れてよかったです。
- アンケートをしてよかったことは、大関地区の人の気持ちがわかって、どうすれば捨てないでくれるのか考えやすくなりました。考えた結果、たくさんの情報をまとめることができました。そのまとめたことを地区の人に伝えていきたいです。
- アンケートやゴミ拾いをして地区の人とのつながりを感じて、もっと質問したり伝えたいな、わからせたいなと思いました。大関クリーン隊に参加したいと思いました。地区の人参加してほしいです。

講師まとめ

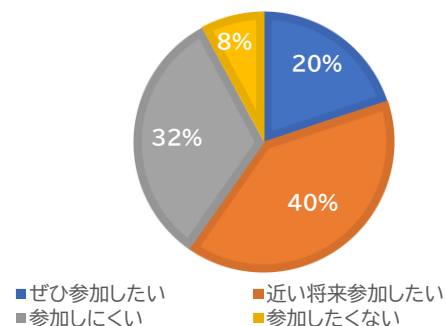
大関クリーン隊の皆さんが10年計画で進んできたゴミ探検。毎年たくさんのゴミを拾い、結果を示していても、なかなかゴミが減って行かないことがきっかけで、住民アンケートを思いつきました。そして、ゴミの中でも多いタバコのポイ捨てに焦点をあてて、行うことに決めました。アンケートは、子ども達と一緒に授業で考えた設問がもとになっています。

その結果、沢山の住民の方々が回答して下さい、大関のまちを大切に思っていること、協力していきたいと思っていることがわかりました。タバコのゴミは、道路沿いや田畑に多いようです。外部から来る通過交通の人が捨てている可能性もあります。

特に重要だと思った意見は、大関をいつもきれいなまちにしておくことやゴミゼロを目指していることをPRすることで、捨てない気持ちを引き出すこと。そのために何ができるか、アイデアがいろいろ湧いてきてわくわくしませんか。

ぜひ、これからその方法を一緒に考えていきましょう！

【大関クリーン隊への参加意向】



「大関クリーン隊」は、2020年から子どもと大人と一緒にゴミゼロ大関をめざして、10年計画で活動しています。アンケートでは、6割にあたる129名の方が参加を希望して下さい、4年生の子ども達は全員が参加したいと答えてくれました。一緒に活動していきましょう！ 詳しくは、大関コミュニティセンターまでご連絡下さい。